

平成 22 年版

(平成 23 年 発刊)

# 消 防 年 報



甘 木 ・ 朝 倉 消 防 本 部

## 表紙写真

### 山田井堰(やまだいぜき)(朝倉市山田)

江戸時代前期寛文3年(1633)筑後川から水を引き150haの新田が開発されました。その後更に開田をすすめるため水量を確保するため取入口を変更し、岩盤をくり抜いた切貫水門となっています。

寛政2年(1790)に至り、筑後川いっぱいを堰き止める石堰を築造し水量の増加をはかりました。

表面積7,688坪(25,370㎡)の石堰も、明治7年、明治18年、昭和55年の洪水で崩壊するなど幾多の試練にあいながら、今もなお昔の面影をとどめて670haの美田を潤おしています。この山田井堰の工法はペシャワール会によってアフガン復興支援の灌漑用水モデルとして活用されています。

(朝倉市ホームページの山田井堰紹介文から)

# —— は し が き ——

この年報は、甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防の現勢と平成22年中における消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

本書は、平成23年4月1日を基準に作成し、警防編の統計は暦年、その他については会計年度で表し、一部当該表に記載する年月日により編集しています。

平成23年7月

甘木・朝倉消防本部

平成23年度 全国統一防火標語

**消したはず**

**決めつけないで**

**もう一度**

---

# INDEX

---

## 総括編

---

管内の概要	1
圏域の紹介	2
管内図と庁舎の現況	4
消防の歴代管理者	6
消防本部、消防署の組織	8
消防本部、消防署の事務分掌	9
消防相互応援協定の状況	11
消防本部の沿革	12

## 総務編

---

職員の配置状況	21
職員の任用状況	21
職員数の推移	21
職員の勤続年数調	22
職員の年齢調	23
職員の教養実施状況	24
職員の資格保有状況	25
当初予算額	26

## 予防編

---

建築確認同意事務処理の状況	27
防火対象物の状況	28
中高層建築物の現況(4階以上)	30
各種届出事務処理の状況	31
危険物施設の状況	32
危険物施設の査察実施状況	32
危険物規制事務処理の状況	33
危険物手数料徴収の状況	33
甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会	34
甘木・朝倉防災協会	35
筑後地区消防設備士会朝倉部会	35
外郭団体の活動	36

## 警防編

---

車両の配置状況	37
消防水利の状況	37
消防機材の配置状況	38
火災の概要	39
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	40
原因別の出火件数	42
火災件数10年の推移	42
救急の概要	43
市町村別の救急状況	44
月別、時間別の出場件数	45
性別、年齢別、程度別、月別の搬送状況	46
程度別の搬送状況	47
救急出場件数10年の推移	47
応急手当の普及啓発活動状況	48
救命スタッフのいる事業所認定制度	48
救助の概要	49
月別、市町村別の出動件数	49
事故種別、発生場所別の出動件数	50
事故種別比較表	50
事故種別、出動人員、活動人員	51
救助出動件数10年の推移	51
通信指令系統図	52
119番着信状況	53
医療機関案内状況	53

## 消防団編

---

消防団員数	54
車両台数	54
年齢別団員数	55
在職年数別団員数	55